

# 東日本大震災の概況

地震により発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者が生じるとともに、沿岸部の広範囲にわたり未曾有の被害をもたらしました。内陸部においても大きな揺れが約3分間続き、電気、上下水道、ガスなどの被害が広範囲に及び、道路、公共交通機関、通信インフラも大きな被害を受けました。沿岸地域では従来一定の津波対策を行ってききましたが、今回の巨大津波を防ぐことはできず、壊滅的な被害を受け、最大32万人を超える被災者が避難所での生活を余儀なくされました。また、東京電力福島第一原子力発電所が津波被災し、空間に放射性物質が放出されたため、宮城県においても、放射能測定や各種検査などの対応に追われました。



塩竈市



仙台市



岩沼市



気仙沼市



南三陸町

発生日時  
**平成23年3月11日(金)**  
**14時46分頃**

震央地名  
**三陸沖(北緯 38.1度、東経 142.5度)**  
牡鹿半島の東約 130km

震源の深さ **約24km**

最大震度 **震度7** (栗原市) マグニチュード **M9.0**



震央

## 被害状況

詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/km-higaizyoukyou.html>

### (1) 人的被害

死者	<b>10,530人</b>
行方不明者	<b>1,255人</b>

死者のうち909人が関連死  
全国の被害者総数の約6割に相当

### (2) 住家被害

全壊	<b>82,993棟</b>
半壊	<b>155,126棟</b>

全国の被害総数の約6割に相当

### (3) 避難の状況

平成23年12月30日  
県内の全避難所が閉鎖

ピーク時(平成23年3月14日)	
1,183施設(35市町村)	
320,885人	

応急仮設住宅入居者	<b>35,332人</b>
民間賃貸借上住宅入居者	<b>32,503人</b>
県外避難者	<b>7,458人</b>

### (4) ライフライン関係被害

平成23年12月11日  
県内のライフラインが全て復旧(津波で流出した地域を除く)

ピーク時	
停電	<b>1,545,494戸</b>
給水支障	<b>35市町村</b>
ガス供給支障	<b>13市町</b>

### (7) 被害額の概要

交通関係	<b>103億円</b>	鉄道、バス、離島航路 ※東日本旅客鉄道分を含みません。
ライフライン施設	<b>2,394億円</b>	電気、水道、都市ガス、通信・放送施設
保健医療・福祉関係施設	<b>518億円</b>	医療機関、社会福祉施設など
建築物(住宅関係)	<b>5兆0,904億円</b>	
民間施設など	<b>9,906億円</b>	工業、商業、自動車・船舶など
農林水産関係	<b>1兆2,952億円</b>	農業、畜産業、林業、水産業など
公共土木・交通基盤施設	<b>1兆2,568億円</b>	道路、河川、海岸、港湾、下水道など
文教施設	<b>2,062億円</b>	学校、社会教育施設、文化財施設など
廃棄物処理・し尿処理施設	<b>54億円</b>	
その他の公共施設など	<b>762億円</b>	観光施設、消防・警察関係施設、庁舎など
計	<b>9兆2,223億円</b>	

### (5) 浸水面積 **327km<sup>2</sup>**

青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の6県合計の浸水面積561km<sup>2</sup>の約6割、東京都23区の面積の半分以上に相当

### (6) 地盤沈下

海拔0m以下の面積	<b>56km<sup>2</sup></b>
-----------	-------------------------

震災後増加割合3.4倍

※(1)、(2)、(3)は平成27年1月31日、(7)は平成26年12月10日時点の情報です。  
※(5)東京都23区の面積は622.99平方キロメートル



※ガソリンスタンドにできた長蛇の列